

## 理事長挨拶



宮原 秀夫

独立行政法人情報通信研究機構（NICT）は、情報通信分野を専門とする公的研究機関であり、我が国の国際競争力の維持・強化や安心・安全で豊かな国民生活の実現に向け、国の情報通信政策との密接な連携のもとで情報通信技術の研究開発に取り組み、世界の先端をけん引する研究成果を創出する役割を担っています。

平成18年度より開始した第二期中期計画では、ユビキタスネット社会の実現に向けて、「新世代ネットワーク技術」、「ユニバーサルコミュニケーション技術」、「安心・安全のための情報通信技術」の3つ領域へ研究開発の重点化を図り、高いリスクで中長期的視野に立った基礎・基盤的な研究開発を自ら実施するとともに、実用化への橋渡しのための研究委託や産学結集型研究開発の実施、事業化への加速のためのベンチャー支援、インフラ高度化支援などを実施しています。

平成20年度は、成果としてまず、「新世代ネットワークビジョン」の策定・公表が挙げられます。このビジョンは、既存のネットワーク技術にとらわれずに白紙からネットワークをデザインすることを目的として、平成19年度に立ち上げた新世代ネットワーク戦略本部において策定されたものです。今後は、このビジョンの実現に必要なあらゆる技術を洗い出して研究開発のロードマップを作成し、日本の優位性を発揮できるよう当機構が中心となって研究開発を推進していきます。

次に、「MASTARプロジェクト」による活動が挙げられます。このプロジェクトは、音声・言語処理技術を統合的に研究開発し、研究成果の社会展開を推進するために発足したものです。このプロジェクトにより、北京オリンピックの開催期間中、会場周辺において日本人観光客などを対象とした日中音声翻訳の実証実験を行うとともに、北京五輪組織委員会が運営した多言語情報サービスシステムへの翻訳技術の提供も行い、同委員会より感謝状もいただきました。

NICTは、自らが創出する研究成果により、顕在化する社会問題などのマイナス面を解決するとともに、個人の知識や地域コミュニティのパワーにより生活の質や生産性を向上させるなどのプラス面に貢献できるよう、今後も一層努力していく所存です。

NICTをご理解いただく一助として本年報をご活用いただければ幸いです。  
今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。